

令和6年度 不祥事根絶に向けた取組み

土浦市立土浦小学校長

本校は、地域から信頼され、児童の今と将来の幸せにつながる豊かな学びを保障するため、その妨げとなる不祥事の根絶に向けて、以下の取組みを推進します。

(1) 教職員の意識の醸成

- ・個々の得意やよさ、キャリアステージを生かした適材適所の校務分掌により、教職員一人一人が使命感や誇りをもって職務に励むことができるようにします。
- ・コンプライアンス研修の年間計画を作成し、ボトムアップ型の研修を月一回実施することなどにより、問題を自分事として捉える機会を設け、意識の高揚を図ります。
- ・外部専門機関による研修を計画的に実施することにより、専門的な知見を深め、法令遵守に向けた意識を醸成します。

(2) 環境整備と相談体制づくり

- ・校舎内外の整理整頓に努めるとともに、月一回の安全点検を実施し、不祥事を引き起こす余地を生み出さない環境づくりを推進します。
- ・話しやすく、相談しやすい、風通しの良い職場環境づくりをとおして、問題の早期発見・早期対応に努めます。
- ・働き方改革を意識した業務時間の短縮と内容の見直しに努め、教職員が日々健全に児童と向き合える心身の健康づくりを行います。
- ・管理職による定期的な授業参観をとおして、児童や学級の様子や変化を見取るとともに、教員評価面談により教職員のメンタルヘルスマネジメントに努めます。

(3) チームで対応する組織づくり

- ・学年主任を中心として定期的に児童の情報共有を図り、担任一人が抱え込むのではなく、学年全体で学年の児童を見守る体制づくりを推進します。
- ・児童へのアンケート調査や相談体制を充実させるとともに、指導にあたっては児童の人権に配慮した言動を心がけ、可能な限り教職員が複数体制で行うなど、問題の未然防止に努めます。
- ・個人情報の取り扱いに細心の注意を払い、複数の目で確認する体制づくりをとおして、情報漏洩や誤廃棄等の防止に努めます。

(4) 地域

- ・近隣の小中学校と連携を図り、児童の人権に配慮した系統性のある指導や関わり方について共通理解を図るなど、学校種を超えた息の長い支援を実施できるようにします。
- ・学校の情報を定期的に発信し、学校の良い点や課題等を保護者や地域と分かち合い、「共につくる学校」の基盤の定着に努めます。